

2025年度事業報告書

自2025年4月1日 至2026年3月31日

特定非営利活動法人 スマイルオブキッズ

1 事業活動方針

闘病中の子どもたちの基本的人権が尊重され、最善の医療を受け日々の生活の質を向上させることができるよう、本人及び家族に精神的、物質的な支援をするとともに、闘病中の子どもたちの現状を広く社会に伝え、社会全体の子育て環境の改善に寄与した。

2 本年度重点項目

- ・患者家族滞在施設運営事業(①)
利用者が安心・安全に過ごすことのできる環境を提供するため、施設・設備の修繕を実行した。
複数名で運営を担い、ボランティアスタッフが活動に主体的に関わることのできる環境を継続した。
- ・保育事業(③)／難病の子ども達の課題を解決していくための支援事業(④-ウ)
研修会の参加や他団体との連携強化より、親と子双方が安心できる保育を実施した。
きょうだい児支援に関するニーズ調査報告書を活用し、持続可能な運営体制の構築を目指した。

3 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 闘病児及び家族の支援施設の整備及び運営事業

支出額：14,922,602円

ア 患者家族滞在施設「リラのいえ」運営事業

(公益財団法人アイネット地域振興財団助成事業)

内容： 闘病児及び家族の支援施設の整備及び運営事業。滞在施設を適正に運営し、法人の責任を保ち、利用者が気持ちにゆとりを持って看病に専念できるよう最適な環境を提供した。快適な住環境を保つための設備のメンテナンスや備品の整理を遂行した。個人情報の保護に努めながら、利用者寄り添うことのできるボランティアを育成した。

運営期間： 通年

従事者： 約80名

対象者： 病児とその家族

場所： 横浜市南区「リラのいえ」

利用者数： 4,342名

平均稼働率： 67.7%

② 家族の交流の場の提供事業

支出額：694,130円

ア コンサートホールで生の音楽を聴くことのできない子どものための音楽会の開催

(公益財団法人原田積善会・公益財団法人神奈川心身障害児福祉基金財団助成事業)

内容： 神奈川県内の特別支援学校の児童・生徒・卒業生を中心とした、障害のある子どもと家族のための音楽会を開催した。例年の会場が改修工事中で小規模な会場で開催するため、ライブ配信は行わず有観客3公演とした。

開催日： 5月3日・4日

従事者： 28名

対象者： 障害のある子どもとその家族

場所： 横浜ラポール（ラポールボックス）

利用参加者： 重症心身障がい児52名 家族102名

イ バザー開催・出展

内容： 地域交流と広報を目的として、リラのいえでバザーを開催した。音楽会の開催や衣類交換会等を行った。他団体主催のイベントでのチャリティーバザーにも出展した。

開催日： 10月19日

従事者： 30名

対象者： 近隣地域の方・支援者・一般市民

場所： 横浜市南区「リラのいえ」ほか

利用参加者： 約150名

③ 保育事業

支出額：6,208,705円

ア リラのいえきょうだい児保育事業(横浜市の認可外保育施設として認証)

(一般財団法人日本おもちゃ図書館財団・公益財団法人公益推進協会「新井孝行基金」助成事業)

内容： 医療センターへ入通院する病児のきょうだい児を保育士が預かり、保育した。きょうだい児が安全で楽しい時間を過ごし、病児家族が安心して病児の面会や診察に向かえるようにした。医療センター及びボランティア団体「オレンジクラブ」によるきょうだい預かり活動との連絡会を年4回開催し活動状況の共有に努め、利用者に適切な情報を届けられるようにした。

運営期間： 通年
従事者： 11名
対象者： 病児のきょうだいとその家族
場 所： 横浜市南区「リラのいえ」
年間利用者： 850名

イ 研修会等への保育士派遣

内 容： 他団体が主催の、病児の家族や小児医療に関心のある方を対象とした研修会等で実施される預かり保育に保育士を派遣予定だったが、今年度は依頼がなかった。

④難病の子ども達の課題を解決していくための支援事業

支出額：1,575,672円

ア 重症心身障がい児と家族への音楽支援

内 容： 重症心身障がい児とその家族が楽しめる機会を提供するため、出張コンサートを行った。

開催日： 12月13日
従事者： 4名
対象者： 重症心身障がい児とその家族
場 所： 神奈川県立こども医療センター重心施設「ひだまり」

イ チャリティーコンサートの開催

(公益財団法人神奈川心身障害児福祉基金財団助成事業)

内 容： 小児医療を取り巻く環境で必要な支援をアピールするためのコンサートを開催した。来場者に活動の意義と現場の雰囲気伝えるため、リラのいえ利用家族の声を紹介した。

開催日： 9月28日
従事者： 24名
対象者： 一般市民
場 所： はまぎんホールヴィアマーレ
参加者： 315名

ウ 病気や障害のある子どものきょうだい児支援事業

内 容： きょうだい児を取り巻く環境や課題、必要な支援についての社会的周知、支援者同士の交流を目的としたシンポジウムを開催した。今年度は保育事業にスポットを当て、横浜市の事業として療育センターできょうだい児保育を行う団体の事例を共有した。2024年度にこども医療センターと連携して行ったきょうだい児お預かり・保育に関するニーズ調査の報告、利用者の声の紹介等を行った。行政職員の参加を促すため市役所内で開催、当日参加できない職員向けに動画配信を行った。

開催日： 12月11日
従事者： 10名
対象者： 行政関係者 その他一般
場 所： 横浜市市民協働センター スペースA・B
参加者： 52名

エ 病児家族へのミールサポート事業

内 容： リラのいえ利用者に栄養バランスの取れた食事をお届けした。近隣の飲食店が配達する弁当、または、リラのいえで調理した食事を提供した。調理には飲食店店員とリラのいえボランティアが携わった。

実施日程： 通年(月3回)
従事者： 各回約5名
対象者： 病児とその家族
場 所： リラのいえ

⑤その他、本会の目的を達成するために必要な事業

支出額：61,070円

ア 組織基盤強化事業

内 容： 広報資料やホームページの適切な更新、SNSの活用などについて、外部団体の協力を得ながら推進し組織基盤を強化した。

従事者： 5名